

目次

[概要](#)

[どこでログのソフト バウンス情報を見つけますか。](#)

[例](#)

[関連情報](#)

概要

どんなソフト バウンス定義される、そしてどこにソフト バウンスが Cisco E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) にと記録されるかこの資料に記述されています。

どこでログのソフト バウンス情報を見つけますか。

ソフト バウンスは一時的に配送不可の電子メールです。たとえば、ユーザか。s メールボックスは完全かもしれません。これらのメッセージは後で再試行することができます。(例えば、SMTP 4XX エラーコード。)

注4XX エラーコードのさらに詳しい詳細については、[Simple Mail Transfer Protocol \(SMTP\) を高められたステータス スコード レジストリ](#)参照して下さい。

ソフト バウンスはバウンス ログ (バウンス) の IronPort テキスト メール ログ (mail_logs) およびログオンされます。バウンス ログは各々の跳ねられた受信者に関してすべての情報を記録します。さらに、記録 すべき指定されたメッセージ サイズがセットアップ logconfig > logheaders があれば、メッセージがおよびヘッダー情報はバウンス情報の後で現れます。

ESA は設定されるように bounceconfig パラメータに基づいて配信を再試行します。配信は再試行の数設定最大値のに基づいていましたかキューの最大時間後で再試行されます。

デフォルトで、システムはバウンス メッセージを生成し、各々のハードな跳ねられた受信者のための元の送信側に送信します。(メッセージ エンベロープのエンベロープ 送信側 アドレスで定義されるメッセージはアドレスに送られます。エンベロープはからのまたエンベロープ 送信側と一般に言われます。) この機能をディセーブルにし、ハードなバウンスについての情報のためのログファイルに代りに頼ることができます。

ソフト バウンスは再試行のキューまたは最大数の最大時間以降に最初に来るものはどれでも、ハードなバウンスになります。

例

mail_logs に見られるようにソフト バウンスの例:

バウンス ログに見られるようにソフト バウンスの例:

関連情報

- [Cisco 電子メール セキュリティ アプライアンス - エンド ユーザ ガイド](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)